

Ethinylestradiol 50  $\mu$ g の合剤の避妊および月経困難症に対する効果, 日本不妊学会誌 24: 245-256, 1979.

3) 柳沼 志: 子宮内膜症のDANAZOL療法, 産婦人科治療 38: 509-513, 1979.

4) 橋口精範, 岩崎由雄, 小林拓郎, 柳沼 志, 雨森良彦, 石原 力, 貝原 学, 齊藤 正実, 鈴木 三郎, 長瀬行之: 「Lo-Lyndiol」による月経困難症の治療, 診療と新薬 16: 1239-1251, 1979.

5) 柳沼 志: 月経困難症の治療計画とその概念, 臨床婦人科産科 33: 763-769, 1979.

6) Yaginuma T.: Progress and therapy of stress-amenorrhea, Fert. Steril. 32: 36-39, 1979.

7) 柳沼 志, 泉 陸一: 周産期における児成長に対する成長ホルモンの意義, 日本新生児学会誌 15: 475-478, 1979.

#### ◆ 学会報告

1) 柳沼 志, 泉 陸一: 周産期における妊婦血中PROLACTINIC CORTISOL の動態と意義, 第31回日本産科婦人科学会総会, 1979. 4, 東京.

2) 柳沼 志, 泉 陸一: 周産期における児成長ホルモンおよび子宮内胎児発育遅延症の考察, 第15回日本新生児学会総会, 1979. 7, 東京.

3) 柳沼 志, 泉 陸一, 長阪恒樹, 新居 隆, 川端正清, 細川 仁, 八木義仁, 藤盛亮寿, 古谷元康: 周産期児の成長ホルモン-SFDとの関係, 第7回日産婦学会北日本連合地方部会, 1979. 9, 新潟.

4) 泉 陸一, 柳沼 志, 長阪恒樹, 新居 隆, 川端正清, 細川 仁, 八木義仁: 子宮体癌の予後因子としての組織分類, 第7回日産婦学会北日本連合地方部会, 1979. 9, 新潟.

5) 川端正清, 八木義仁, 細川 仁, 新居 隆, 長阪恒樹, 柳沼 志, 泉 陸一: 子宮頸癌治療後患者における末梢血リンパ球のPHA被刺激性の意義, 第7回日産婦学会北日本連合地方部会, 1979. 9, 新潟.

6) 柳沼 志, 長阪恒樹, 新居 隆, 川端正清, 細川 仁, 八木義仁, 泉 陸一: 子宮内膜症の新療法Danocrine(Danazol)療法, 第7回日産婦学会北日本連合地方部会, 1979. 9, 新潟.

7) 藤盛亮寿, 古谷元康, 柳沼 志: 高プロラクチン血症を伴ったStein-Leventhal症候群, 第7回日産婦学会北日本連合地方部会, 1979. 9, 新潟.

8) 川端正清, 川名 尚, 滝沢 憲, 白水健士, 坂元正一: 婦人科癌治療後患者の再発予知における末梢血リンパ球のPHA被刺激性の意義, 第17回日

本癌治療学会, 1979. 9, 東京.

9) Izumi R.: Chemotherapy for ovarian cancer, IX World Congress of Gynecology and Obstetrics, 1979. 10, Tokyo.

10) Yaginuma T. and Izumi R.: A negative correlation between blood prolactin and cortisol levels during labor, IX World Congress of Gynecology and Obstetrics, 1979. 10, Tokyo.

## 眼 科 学

教 授	窪 田 靖 夫
助 教 授	中 村 泰 久
講 師	窪 田 叔 子
助 手	山 田 祐 司
助 手	柿 栖 米 次
助 手	宝 田 千 賀 子

#### ◆ 研究概要

1) 網膜色素変性症に関する研究. 網膜色素変性症の臨床像を分析, 検討し, 本症の進行性の予測, 薬物療法の治療効果, 進行に関する要因について検討した.

2) ベーチェット病の診断と治療に関する研究. 本症の電気生理学的方法による早期診断に関する研究を行ない, 早期診断を可能とするとともに薬物による治療効果について研究を進めている.

3) 眼窩腫瘍の診断に関する研究. 眼窩腫瘍の診断法につき, とくにX線を用いて, その局在, 性状等を検索する手技につき臨床的研究を行なっている.

4) 遺伝性眼疾患に関する研究. 遺伝性眼疾患, とくに染色体異常による眼疾患につき染色体の分析, 検討を行ない, 病因についての研究を進めている.

#### ◆ 著 書

1) 窪田靖夫: 網膜色素変性症, 629, 今日の治療指針, 医学書院, 1979.

2) 中村泰久: 眼外傷, 630-631, 今日の治療指針, 医学書院, 1979.

#### ◆ 原 著

1) Kubota Y.: Retinal degeneration induced by retinotoxic drugs, 906-907, International Congress Series NO. 450, XXXIII Concilium Opth., ISBN Elserier North-Holland, 1979.

2) 窪田靖夫: 眼外傷の統計的観察, とくに原因別に見た近年における推移について, 眼科臨床医報 73: 600-602, 1979.

3) Nakamura Y. and Asanagi K. : Diagnostic Cytology in Orbital and Lid tumor, 1825-1827, International Congress Series NO. 450, XXXIII Concilium Ophthalm., ISBN Elsevier North-Holland, 1979.

4) 中村泰久, 麻薙 薫: 眼科領域におけるCT SCAN像の画質評価について, 日本眼科紀要 30: 1038-1042, 1979.

5) 麻薙 薫, 中村泰久, 重盛博一: 正常眼窩内各部のX線吸収係数のあわれ方と造影剤によるそれらの造影効果について, 臨床眼科 33: 1009-1013, 1979.

6) 窪田叔子, 山口宗彦, 矢島寿夫: 鼻性視神経障害, とくに後部副鼻腔嚢腫による視神経障害について, 眼科臨床医報 73: 50-57, 1979.

7) 窪田叔子, 倉山英昭, 蟹沢晴子: 長期ステロイド投与患児におけるステロイド白内障発生と全身副作用との関係について, 眼科臨床医報 73: 1024-1027, 1979.

#### ◆ その他

1) 窪田靖夫, 野村恭子: 乳頭血管炎の1例, 眼科臨床医報 73: 1431-1434, 1979.

2) 武田憲夫, 中村泰久, 岩崎 勇: 結膜色素斑の部分に発生した悪性腫瘍の1例, 日本眼科紀要 30: 836-840, 1979.

3) 窪田叔子, 向井貴子: 高含水率ソフトコンタクトレンズの使用経験について, 日本の眼科 50: 975-977, 1979.

4) 柿栖米次, 中村泰久, 岩崎 勇: 小眼球を伴った眼窩腫瘍の1例, 日本眼科紀要 30: 980-983, 1979.

5) 柿栖米次, 中村泰久, 岩崎 勇: ハードコンタクトレンズによる眼瞼異物性肉芽腫の1例, 日本眼科紀要 30: 1822-1826, 1979.

#### ◆ 学会発表

1) Kubota Y. and Kubota S.: ERG of Behcet's disease and its diagnostic significance, XVII Symposium of the International Society for Electrophysiology of Vision, 1979. 6, Erfurt, German Democratic Republic.

2) 窪田靖夫, 麻薙 薫: 進行性錐体機能不全症のERG, 各波成分の分析, 第45回, 日本中部眼科学会, 1979. 9, 松本.

3) 中村泰久, 麻薙 薫, 重盛博一: 眼科領域におけるCT-Scan像の画質評価について, 第49回九州眼科学会, 1979. 5, 福岡.

4) 中村泰久, 武田憲夫, 柿栖米次, 千葉次郎:

Epicanthus inversus, Blepharophimosis, Blepharoptosisを主症状とする症候群の形成手術について, 第2回 眼科手術学会, 1979. 2, 名古屋.

5) 麻薙 薫, 中村泰久, 重盛博一: 視神経を中心とした球後組織のCT係数分布について, 第45回日本中部眼科学会, 1979. 9, 松本.

6) 武田憲夫, 勝呂慶子, 中村泰久, 岩崎 勇: 1眼は増殖性変化を示し, 他眼は眼球瘻に陥った両眼性網膜芽細胞腫の1例, 第45回日本中部眼科学会, 1979. 9, 松本.

7) 飯島幸雄, 石川 清, 金井塚道節, 窪田叔子, 斉藤俊吉: 裂孔原性網膜剥離の発症頻度, 第17回北日本眼科学会, 1979. 6, 弘前.

8) 松田健史, 森沢佐蔵, 武田公男, 窪田叔子, 松井 晶: 家族性血尿の人類遺伝学的分析, 日本解剖学会, 第39回中部地方会, 1979. 11, 瀬戸.

9) 飯島幸雄, 麻薙 薫, 柿栖米次: トブコンフォットスリットランプSL-5Dの使用経験, 第76回中国四国, 第28回四国合同眼科学会, 1979. 7, 徳島.

10) 千葉弥幸, 黒田紀子, 柿栖米次: TV pattern stimulator TPS-7900の使用経験, 第45回日本中部眼科学会, 1979. 9, 松本.

11) 中村泰久, 柿栖米次, 武田憲夫: CT読影に必要な眼窩局所解剖に関する研究, 第33回日本臨床眼科学会, 1979. 11, 東京.

12) 中村泰久, 柿栖米次, 宝田千賀子: 日本人の瞼裂の形態と瞳孔間距離との関係, 第33回日本臨床眼科学会, 1979. 10, 東京.

## 耳 鼻 咽 喉 科 学

教 授	水 越 鉄 理
助 教 授	大 野 吉 昭
講 師	渡 辺 行 雄
助 手	大 橋 直 樹
助 手	小 林 英 人
文部技官	武 田 精 一

#### ◆ 研究概要

1) メニエール病への疫学的, 神経耳科学的アプローチを厚生省特定疾患メニエール病調査研究班の疫学分科会長(幹事)として過去6年間にわたって調査研究している。現在, 確実例520例の追跡調査として初期例180例を対象として120例(66%)を集計し, 疫学臨床的分析をPDP11/40を使用して行った。(水越, 渡辺)

2) 中枢神経系障害, とくに小脳脳幹障害に対す